

第44回 我孫子市放射能対策会議 会議概要

- 【場 所】 市長応接室
- 【日 時】 平成26年5月23日（金）13：30～
- 【出席者】 市長、副市長、水道局長、総務部長、企画財政部長、健康福祉部長、子ども部長、環境経済部長、環境経済部参与、都市部長、建設部長、教育委員会総務部長、秘書広報課長、健康づくり支援課長、保育課長（代理）、クリーンセンター長、農政課長、道路課長、下水道課長、公園緑地課長、放射能対策室長

（報告事項）

（1）放射線量測定結果及び放射能に関する対応について

（各課）

- ・特に無し。

（2）指定廃棄物の最終処分場の確保等に関する緊急要望について（クリーンセンター）

- ・5月25日に松戸市、柏市、流山市、我孫子市、印西市の5市連名にて石原環境大臣あてに指定廃棄物の最終処分場の確保等に関する要望書を提出した。要望内容は次の通り。 1、指定廃棄物の最終処分場の確保に関するスケジュールをあらためて明示したうえで、一刻も早く確保すること。 2、各市の仮保管について、それぞれの実情に合わせて、技術的な協力や財政的な支援を行うこと。 3、引き受け先が見つからず、適正な処理に支障が生じている、1キログラムあたり8,000ベクレル以下の焼却灰について、適切かつ効果的な措置を講じること。
- ・要望を踏まえ、井上環境副大臣より、目標に向けて最大限の努力をすとの回答があった。

（3）タケノコの放射性物質検査について（農政課）

- ・現在、我孫子市ではタケノコと原木露地栽培シイタケの出荷制限がされているが、タケノコの出荷制限を解除するため、我孫子市産50検体を抽出し、出荷制限解除に向けての放射性物質検査が行われた。
- ・検査の結果、95パーセントイル値が68Bq/kgとなり、林野庁が設定した出荷制限解除の基準値（95パーセントイル値50Bq/kg（60Bq/kgまでを許容値））を超えた。
- ・本市の出荷制限解除について、県が5月15日に林野庁に協議に持ち込んだところ、数値が高いので、解除協議対象外である旨伝えられた。

（4）平成25年度放射線量低減対策特別緊急事業補助金の確定について（放射能対策室）

- ・平成25年度の除染に要した経費168,848（千円）のうち、環境省の補助金96,867（千円）が確定した。

- 補助対象外となった経費に関しては、総務省の震災復興特別交付税で対応することとなるが、震災復興特別交付税で対応できないものは財政課と協議のうえ、7月末までに東京電力㈱に賠償請求をする予定である。